

病虫害発生予察注意報 第1号

病虫害名：斑点米の原因となるカメムシ類

1 発生予想 斑点米の原因となるカメムシ類の発生が多く、斑点米が多発する恐れがある。

2 対象地域 県下全域

3 根拠

- (1) 予察灯に誘殺される斑点米の原因となるカメムシ類（以下、斑点米カメムシ類）の内、アカヒゲホソミドリカスミカメの7月1半旬までの誘殺数が平年に比べて多かった（表1、図1）。
- (2) 6月下旬の畦畔のすくい取り（ネット20回振）調査では、斑点米カメムシ類の捕獲地点率は前年に比べ低く、捕獲数は前年に比べて少ないが、アカスジカスミカメ、トゲシラホシカメムシ、ホソハリカメムシ、アカヒメヘリカメムシ、クモヘリカメムシの畦畔内での生息を確認した（表2）。
- (3) 7月上旬の本田のすくい取り（ネット20回振）調査では、平年に比べて捕獲地点率が高く、捕獲数はやや多かった。また、アカヒゲホソミドリカスミカメの捕獲割合は全体の98%であった（表3）。
- (4) 気象庁の7月13日発表の1か月予報では、向こう1か月の平均気温が高いと予想されており、斑点米カメムシ類の活動が活発になることが推測される。

4 防除対策と留意点について

- (1) 出穂前後の畦畔の草刈りは、畦畔雑草に生息する斑点米カメムシ類を水田内に追い込む恐れがあるので、畦畔の草刈りは出穂2週間前までに行う。また、登熟期間中（特に乳熟～糊熟期）の畦畔の草刈りも同様であり出来るだけ控えた方がよい。実施する場合には薬剤防除の直前に行う。
- (2) 斑点米カメムシ類は、水田畦畔の雑草管理状況や周辺環境条件等など地域によって発生量が異なる。また、穂揃期に水田内ですくい取りを行うなどし、発生量及び発生種の把握に努め、薬剤選択等防除の参考とする。
- (3) 斑点米カメムシ類は、主に出穂以降に水田内に侵入するため、一般に出穂の早い品種（早生種及び酒米等）で発生が多く、被害を受けやすくなるので特に注意する。
- (4) 防除薬剤は、「平成29年長野県農作物病虫害・雑草防除基準」に基づき選定する。また、散布に際しては、農薬使用基準を遵守し、周辺への飛散防止に努める。特に、養蜂が行われている地域で殺虫剤を散布する場合には、養蜂業者への情報提供を行うとともに、「平成29年長野県農作物病虫害・雑草防除基準」の特別指導事項等に基づきミツバチへの危被害防止対策に努める。
- (5) 薬剤散布に際しては、水稻の生育状況を確認し適期防除に努める。本田防除で粉剤や乳剤を使用する場合は出穂10日後に実施し、発生が多い地域では、さらに7～10日後（出穂17～20日後）に追加防除を実施する。また、粒剤を使用する場合には、出穂期もしくは出穂7日後に湛水状態で散布し、散布後7日間は止水とする。ただし、薬剤の選定にあたっては、アカヒメヘリカメムシ等の中型のカメムシには効果が低いなど発生種によっては効果が低い場合もあるため、発生種を確認の上、防除を行う。

表1 県内の予察灯におけるアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺数

月・半旬	上田市中野		伊那市美篁		飯田市上郷		南木曾町田立		安曇野市穂高		須坂市八重森	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	1.5	0	0.3	0	0.0	0	0.1	0	0.3	0	0.5
2半旬	0	0.4	0	0.0	0	0.6	0	0.5	0	0.1	0	0.0
3半旬	1	6.6	0	0.8	0	4.2	0	1.7	0	0.3	0	0.8
4半旬	5	9.9	0	1.7	17	6.8	3	4.4	0	4.9	0	1.8
5半旬	59	17.7	9	3.9	60	5.2	16	7.6	0	5.9	35	4.1
6半旬	182	37.7	7	10.3	150	13.6	24	9.1	14	11.7	10	6.5
7月1半旬	112	41.8	50	11.9	66	14.2	11	9.1	12	9.9	37	13.4
6月1半旬～7月1半旬までの計	359	115.6	66	28.9	293	44.6	54	32.5	26	33.1	82	27.1
平年比	311%		228%		657%		166%		79%		303%	

注1) 平年については平成19～28年(10年間)の平均値、なお、飯田市の平年については、平成24～28年(5年間)の平均値

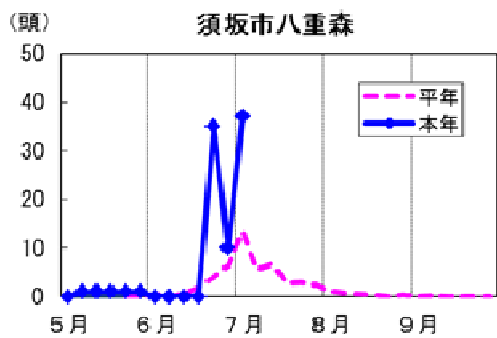
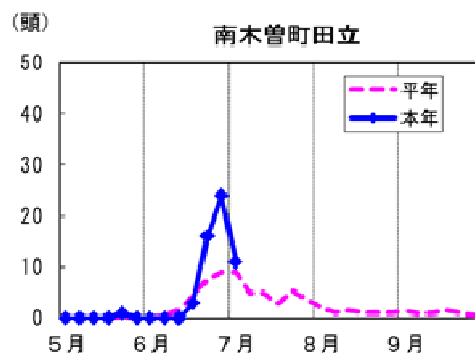
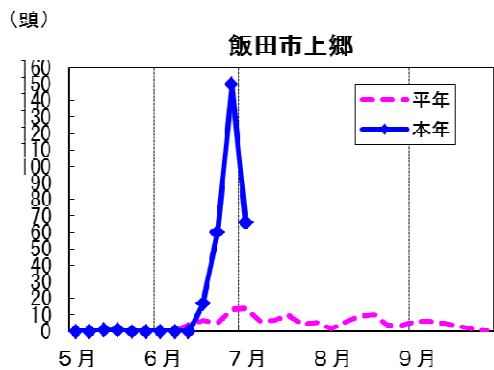
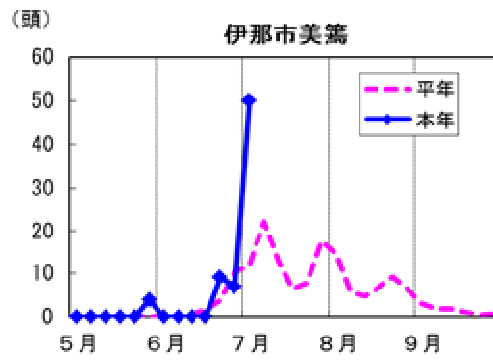
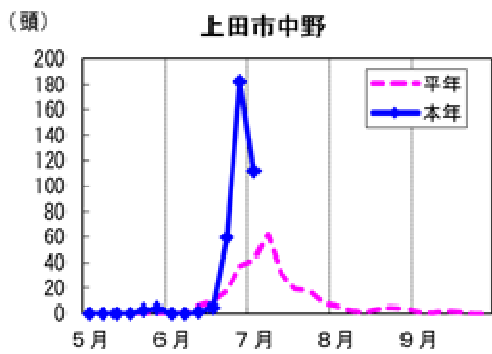


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺消長

注1) 平年については平成19～28年(10年間)の平均値
飯田市の平年については、平成24年～28年(5年間)の平均値

表2 斑点米カメムシ類の畦畔すくい取り(ネット20回振)による捕獲状況(6月下旬)

調査地点数	捕獲地点率(%)		1地点当り捕獲数				斑点米カメムシ類の捕獲数(捕獲割合(%))							
	本年	前年	本年			前年	計	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカシジミ	カトゲシ	シラホ	アカヒメアリ	ホソハリカメムシ	クモハリカメムシ
			平均	最多	最小									
東信	15	6.7	100.0	0.1	1	1	2.0	1	0	0	0	0	0	1
南信	20	80.0	55.0	4.6	24	1	4.1	91	41	36	3	3	8	0
中信	20	70.0	80.0	4.1	24	1	12.0	81	31	38	6	5	1	0
北信	17	5.9	100.0	0.1	1	1	2.0	1	1	0	0	0	0	0
計	72	44.4	69.8	2.4			7.6	174(100%)	73(42%)	74(43%)	9(5%)	8(5%)	9(5%)	1(1%)

注1) 調査方法: 畦畔においてすくい取り(ネットを20回振)で捕獲された斑点米カメムシ類(成虫及び幼虫)を調査

注2) 捕獲地点率(%): 調査地点のうち斑点米カメムシ類が捕獲された地点の割合 注3) 1地点当り捕獲数: 捕獲数計(成虫数+幼虫数)÷調査地点数

表3 斑点米カメムシ類の本田すくい取り(ネット20回振)による捕獲状況(7月上旬)

調査地点数	捕獲地点率(%)		1地点当り捕獲数				斑点米カメムシ類の捕獲数(捕獲割合(%))							
	本年	平年	本年			平年	計	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカシジミ	カトゲシ	シラホ	アカヒメアリ	ホソハリカメムシ	クモハリカメムシ
			平均	最多	最小									
東信	15	33.3	17.2	0.5	3	1	0.4	8	8	0	0	0	0	0
南信	20	30.0	17.9	1.1	11	1	1.1	21	20	0	0	0	1	0
中信	20	55.0	30.6	1.3	6	1	1.3	26	26	0	0	0	0	0
北信	17	29.4	29.5	0.4	3	1	1.2	7	7	0	0	0	0	0
計	72	37.5	23.8	0.9			0.6	62(100%)	61(98%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(2%)	0(0%)

注1) 調査方法: 本田内においてすくい取り(ネットを20回振)で捕獲された斑点米カメムシ類(成虫及び幼虫)を調査した。

注2) 平年は平成19年～28年(10年間)の平均値

注3) 捕獲地点率(%): 調査地点のうち斑点米カメムシ類が捕獲された地点の割合

注4) 1地点当り捕獲数: 捕獲数計(成虫数+幼虫数)÷調査地点数

長野県病害虫防除所
上杉壽和(所長) 小林長生(担当)
TEL: 026-248-6471(直通)
FAX: 026-248-6473
E-mail: bojo@pref.nagano.lg.jp